

鳴瀬吉田川漁業協同組合内共第 14 号第五種共同漁業権遊漁規則

(目的)

第 1 条 この規則は、鳴瀬吉田川漁業協同組合（以下「組合」という。）の有する内共第 14 号第五種共同漁業権に係る漁場（以下単に「漁場」という。）区域において、組合員以外の者のする当該漁業権の対象となっている水産動植物（あゆ、こい、ふな、うぐい、いわな、やまめ(さくらますを含む)、にじます、うなぎ、おいかわ、かじか、及びわかさぎをいう。以下同じ。）の採捕（以下「遊漁」という。）についての制限に関して必要な事項を定めるものとする。

(遊漁の承認及び遊漁料の納付義務)

第 2 条 漁場区域内において遊漁をしようとする者は、あらかじめ、組合に申請してその承認を受けなければならない。

- 2 前項の規定による申請は、手釣、竿釣(籠釣りを除く)、たも網又は投網(築瀬を除く)による遊漁の場合には口頭で、その他の場合には遊漁対象水産動植物、漁具、漁法、遊漁区域及び遊漁期間を記載した遊漁承認申請書を提出しなければならない。
- 3 組合は、第 1 項の規定による申請があったときは、手釣、竿釣(籠釣りを除く)、たも網又は投網(築瀬を除く)による遊漁の場合には第 10 条に規定する場合を除き、その他の場合には当該遊漁の承認により当該水産動植物の繁殖保護、組合員若しくは他の遊漁者（第 1 項の承認を受けた者をいう。以下同じ。）の行う水産動植物の採捕に著しい支障があると認められる場合又は第 10 条に規定する場合を除き、第 1 項の承認をするものとする。
- 4 遊漁者は、直ちに、第 6 条第 1 項の遊漁料を同条第 2 項の方法により組合に納付しなければならない。

(漁具・漁法の制限)

第 3 条 次の表の左欄に掲げる漁具・漁法による遊漁は、それぞれ右欄に掲げる規模の範囲内でなければならない。

漁具・漁法	規 模
投網	網丈 5 メートル以下 網目 1.2 センチメートル以上

- 2 吉田川においては、次条第 1 項の規定によるあゆについての公表の日から 14 日間は、手釣又は竿釣によってする場合を除き、あゆの遊漁をしてはならない。

(遊漁期間)

第4条 次の表の左欄に掲げる魚種を対象とする遊漁は、それぞれ右欄に掲げる期間内で行わなければならない。

魚種	期間
あゆ	7月1日から10月31日までの期間内で組合が定めて公表する期間内
いわな やまめ(さくらま す含む)	3月1日から9月30日まで
にじます うぐい・うなぎ こい・おいかわ ふな・かじか	1月1日から12月31日まで
わかさぎ	10月1日から翌年2月末日

2 前項の公表は、組合及び組合が指定する場所に掲示するほか、組合のウェブサイト等広く周知できる媒体にて公表するものとする。

(全長の制限)

第5条 次の表の左欄に掲げる魚種は、それぞれ右欄に掲げる全長以下のものを採捕してはならない。

魚種	全長
こい	25センチメートル
にじます	20センチメートル
いわな	15センチメートル
やまめ	15センチメートル
うなぎ	20センチメートル

(遊漁料の額及び納付方法)

第6条 遊漁料の額は、次のとおりとする。ただし、第1号の場合において、遊漁者が未就学の幼児のときは無料、小中学校生徒又は肢体不自由者のときは同号に掲げる額

の二分の一に相当する額とし、次項ただし書に規定する方法により納付するときは、1,000円を加算した額とする。

一 手釣、竿釣による遊漁の場合

魚種	漁具・漁法	遊漁料
あゆ・おいかわ ふな・うぐい うなぎ・いわな こい・にじます やまめ(さくらます含む) かじか・わかさぎ	手釣り・竿釣り(但し籠釣りを除く),	1日2,000円 1年6,000円

二 投網の場合

魚種	漁具・漁法	遊漁料
あゆ・おいかわ ふな・うぐい うなぎ・いわな こい・にじます やまめ(さくらます含む) かじか	投網	1年7,000円

2 遊漁料は、次に掲げる場所又は組合が指定するオンラインシステムにおいて納付しなければならない。ただし、当該遊漁をする場所において漁場監視員に納付することができる。

- (1) 鳴瀬吉田川漁業協同組合事務所
- (2) その他組合が指定する場所

(遊漁承認証に関する事項)

第7条 組合は、第2条第1項の承認をしたときは、次に掲げる事項を記載した遊漁承認証(オンラインシステムにより発行されるものを含む。)を遊漁者に交付するものとする。

- (1) 承認を受けた者の氏名、住所
 - (2) 承認期間
 - (3) 魚種
 - (4) 漁具・漁法
 - (5) 遊漁区域
 - (6) 遊漁料の額
 - (7) 発行者名
- 2 遊漁承認証の交付は、前条第2項に規定する場所、組合が指定するオンラインシステム又は漁場監視員において行うものとする。
- 3 遊漁承認証は、他人に貸与してはならない。

(遊漁に際し守るべき事項)

- 第8条 遊漁者は、遊漁をする場合には、遊漁承認証を携帯し、漁場監視員の要求があったときは、これを提示しなければならない。
- 2 遊漁者は、遊漁に際しては、漁場監視員の指示に従わなければならない。
 - 3 遊漁者は、遊漁に際しては、相互に適当な距離を保ち、漁業者及び他の遊漁者の迷惑となる行為をしてはならない。
 - 4 遊漁者は、組合が漁業法（昭和24年法律第267号）に基づく報告等のために行う採捕量の調査等に協力するものとする。

(漁場監視員)

- 第9条 漁場監視員は、遊漁者に対し、この規則の遵守に関して必要な指示を行うことができる。
- 2 漁場監視員は、次に掲げる事項を記載した漁場監視員証を携帯し、かつ、漁場監視員であることを表示する腕章をつけるものとする。
- (1) 氏名
 - (2) 有効期間
 - (3) 注意事項
 - (4) 発行者名

(違反者に対する措置)

第10条 組合は、遊漁者がこの規則に違反したときは、直ちに遊漁の中止を命じ、以後のその者の遊漁を拒否することができる。この場合、遊漁者が既に納付した遊漁料の払戻しは、行わないものとする。

附則

この規則は令和5年9月1日から施行し、当該免許の存続期間において有効とする。

鳴瀬吉田川漁業協同組合内共第 15 号第五種共同漁業権遊漁規則

(目的)

第 1 条 この規則は、鳴瀬吉田川漁業協同組合（以下「組合」という。）の有する内共第 15 号第五種共同漁業権に係る漁場（以下単に「漁場」という。）区域において、組合員以外の者のする当該漁業権の対象となっている水産動植物（あゆ、こい、ふな、うぐい、いわな、やまめ(さくらますを含む)、にじます、うなぎ、おいかわ及びかじかをいう。以下同じ。）の採捕（以下「遊漁」という。）についての制限に関して必要な事項を定めるものとする。

(遊漁の承認及び遊漁料の納付義務)

第 2 条 漁場区域内において遊漁をしようとする者は、あらかじめ、組合に申請してその承認を受けなければならない。

- 2 前項の規定による申請は、手釣、竿釣(籠釣りを除く)、たも網、ぶつきり、投網(築瀬含む)による遊漁の場合には口頭で、その他の場合には遊漁対象水産動植物、漁具、漁法、遊漁区域及び遊漁期間を記載した遊漁承認申請書を提出しなければならない。
- 3 組合は、第 1 項の規定による申請があったときは、手釣、竿釣(籠釣りを除く)、たも網、ぶつきり、投網(築瀬含む)による遊漁の場合には第 1 1 条に規定する場合を除き、その他の場合には当該遊漁の承認により当該水産動植物の繁殖保護、組合員若しくは他の遊漁者（第 1 項の承認を受けた者をいう。以下同じ。）の行う水産動植物の採捕に著しい支障があると認められる場合又は第 1 1 条に規定する場合を除き、第 1 項の承認をするものとする。
- 4 遊漁者は、直ちに、第 7 条第 1 項の遊漁料を同条第 2 項の方法により組合に納付しなければならない。

(漁具・漁法の制限)

第 3 条 次の表の左欄に掲げる漁具・漁法による遊漁は、それぞれ右欄に掲げる規模の範囲内でなければならない。

漁具・漁法	規 模
投網	網丈 5 メートル以下 網目 1.2 センチメートル以上

- 2 鳴瀬川においては、次条第 1 項の規定によるあゆについての公表の日から 14 日間は、手釣又は竿釣によってする場合を除き、あゆの遊漁をしてはならない。

(遊漁期間)

第4条 次の表の左欄に掲げる魚種を対象とする遊漁は、それぞれ右欄に掲げる期間内で行わなければならない。

魚 種	期 間
あゆ	7月1日から10月31日までの期間内で組合が定めて公表する期間内
いわな やまめ(さくらま す含む)	3月1日から9月30日まで
にじます うぐい・うなぎ こい・おいかわ ふな・かじか	1月1日から12月31日まで

2 前項の公表は、組合及び組合が指定する場所に掲示するほか、組合のウェブサイト等広く周知できる媒体にて公表するものとする。

(禁止区域)

第5条 前条の規定による期間内であっても、次の表の左欄に掲げる区域内においては、それぞれ右欄に掲げる期間中は、遊漁をしてはならない。

区 域	期 間
鳴瀬川:左岸加美郡加美町字上川原一番地先と右岸同郡同町米泉地先の間に位置する上川原堰の上流端から上流200メートル及び上流端から下流100メートルまでの区域	1月1日から12月31日まで
鳴瀬川:左岸加美郡加美町字小瀬蟹沢地先と右岸同郡同町字芋沢堰場地先の間に位置する八ヶ村堰の上流端から上流100メートル及び上流端から下流300メートルまでの区域	1月1日から12月31日まで
田 川:加美郡加美町宮崎地内の谷地森堰の上流端から上流100メートル及び上流端から下流200メートルまでの区域	1月1日から12月31日まで
大滝川:左岸加美郡加美町字鹿原谷地袋先と右岸同郡同町字鹿原堰ノ沢地先の間に位置する小山堰の上流端から上流100メートル及び上流端から下流200メートルまでの区域	1月1日から12月31日まで

(全長の制限)

第6条 次の表の左欄に掲げる魚種は、それぞれ右欄に掲げる全長以下のものを採捕してはならない。

魚 種	全 長
こい	25 センチメートル
にじます	20 センチメートル
いわな	15 センチメートル
やまめ	15 センチメートル
うなぎ	20 センチメートル

(遊漁料の額及び納付方法)

第7条 遊漁料の額は、次のとおりとする。ただし、第1号の場合において、遊漁者が未就学の幼児のときは無料、小中学校生徒又は肢体不自由者のときは同号に掲げる額の二分の一に相当する額とし、次項ただし書に規定する方法により納付するときは、1,000円を加算した額とする。

一 手釣り、竿釣りによる遊漁の場合

魚 種	漁具・漁法	遊漁料
あゆ・おいかわ ふな・うぐい うなぎ・いわな こい・にじます やまめ(さくらます含む) かじか	手釣り・竿釣り(但し籠釣りを除く)	1日 2,000円 1年 6,000円

二 投網の場合

魚 種	漁具・漁法	遊漁料
あゆ・おいかわ ふな・うぐい	投網	1年 7,000円

うなぎ・いわな こい・にじます やまめ(さくらます含 む) かじか		
---	--	--

2 遊漁料は、次に掲げる場所又は組合が指定するオンラインシステムにおいて納付しなければならない。ただし、当該遊漁をする場所において漁場監視員に納付することができる。

- (1) 鳴瀬吉田川漁業協同組合事務所
- (2) その他組合が指定する場所

(遊漁承認証に関する事項)

第8条 組合は、第2条第1項の承認をしたときは、次に掲げる事項を記載した遊漁承認証（オンラインシステムにより発行されるものを含む。）を遊漁者に交付するものとする。

- (1) 承認を受けた者の氏名、住所
 - (2) 承認期間
 - (3) 魚種
 - (4) 漁具・漁法
 - (5) 遊漁区域
 - (6) 遊漁料の額
 - (7) 発行者名
- 2 遊漁承認証の交付は、前条第2項に規定する場所、組合が指定するオンラインシステム又は漁場監視員において行うものとする。
- 3 遊漁承認証は、他人に貸与してはならない。

(遊漁に際し守るべき事項)

第9条 遊漁者は、遊漁をする場合には、遊漁承認証を携帯し、漁場監視員の要求があったときは、これを提示しなければならない。

- 2 遊漁者は、遊漁に際しては、漁場監視員の指示に従わなければならない。

- 3 遊漁者は、遊漁に際しては、相互に適当な距離を保ち、漁業者及び他の遊漁者の迷惑となる行為をしてはならない。
- 4 遊漁者は、組合が漁業法（昭和 24 年法律第 267 号）に基づく報告等のために行う採捕量の調査等に協力するものとする。

（漁場監視員）

第 10 条 漁場監視員は、遊漁者に対し、この規則の遵守に関して必要な指示を行うことができる。

2 漁場監視員は、次に掲げる事項を記載した漁場監視員証を携帯し、かつ、漁場監視員であることを表示する腕章をつけるものとする。

- (1) 氏名
- (2) 有効期間
- (3) 注意事項
- (4) 発行者名

（違反者に対する措置）

第 11 条 組合は、遊漁者がこの規則に違反したときは、直ちに遊漁の中止を命じ、以後のその者の遊漁を拒否することができる。この場合、遊漁者が既に納付した遊漁料の払戻しは、行わないものとする。

附則

この規則は令和 5 年 9 月 1 日から施行し、当該免許の存続期間において有効とする。